

**■施工される方へのお願い**

- 本製品の施工の際は、ステッピア本体に同梱の取付け説明書を併せてご使用ください。
- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

⚠ 警告 …取付けを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害、軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 警告

※製品落下及び転落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●部材の固定

- ・組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まないように締付けてください。

⚠ 注意

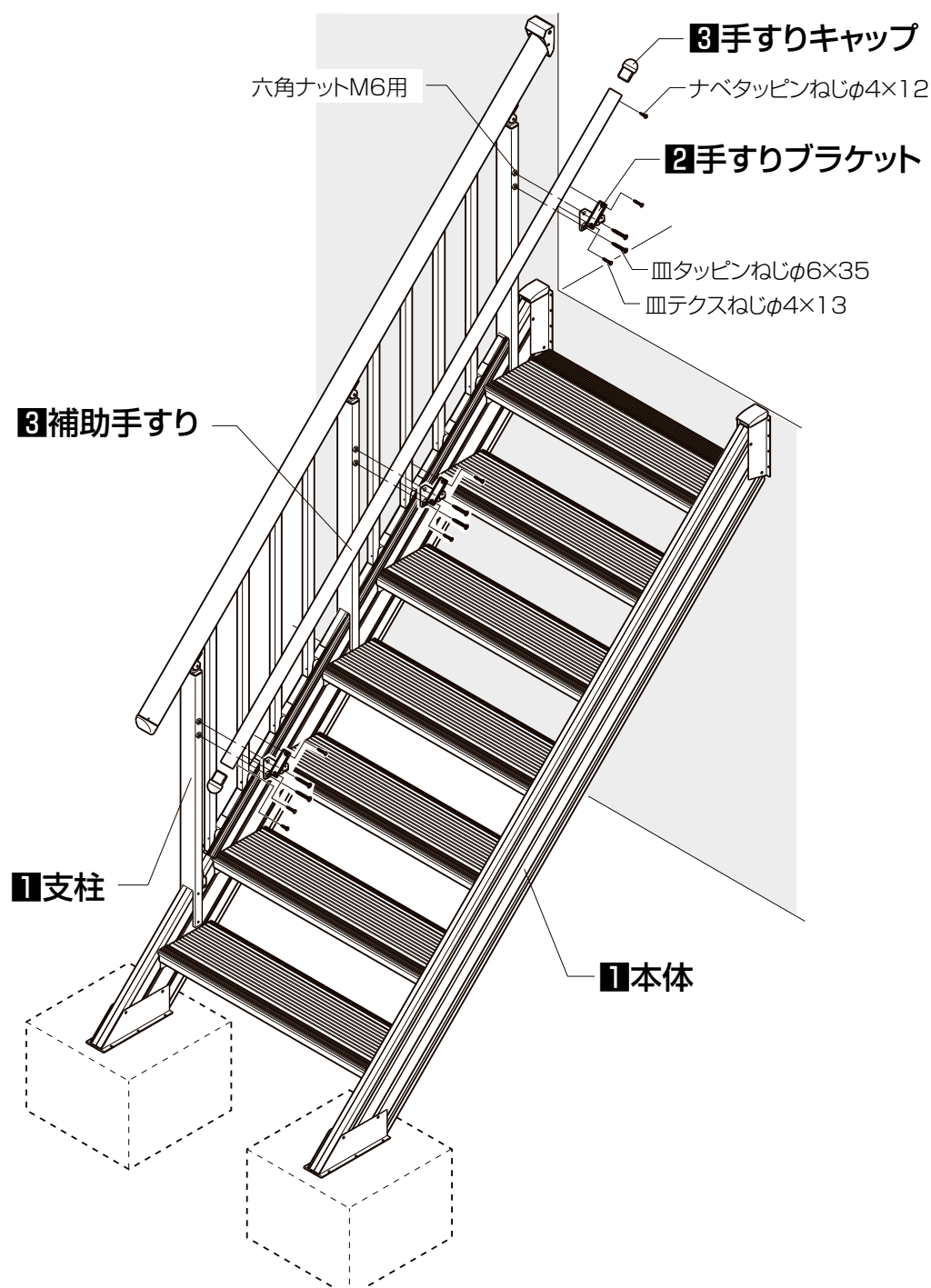
※製品倒壊のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●施工上について

- ・当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- ・みだりに改造・変更をしないでください。
- ・取付けは専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因になることがあります。

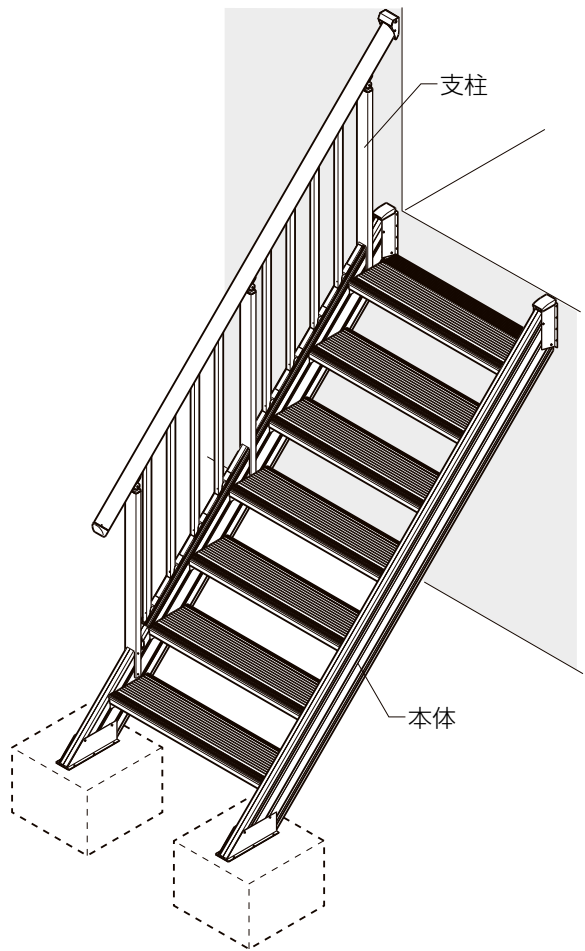
■施工上のお願い

- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。

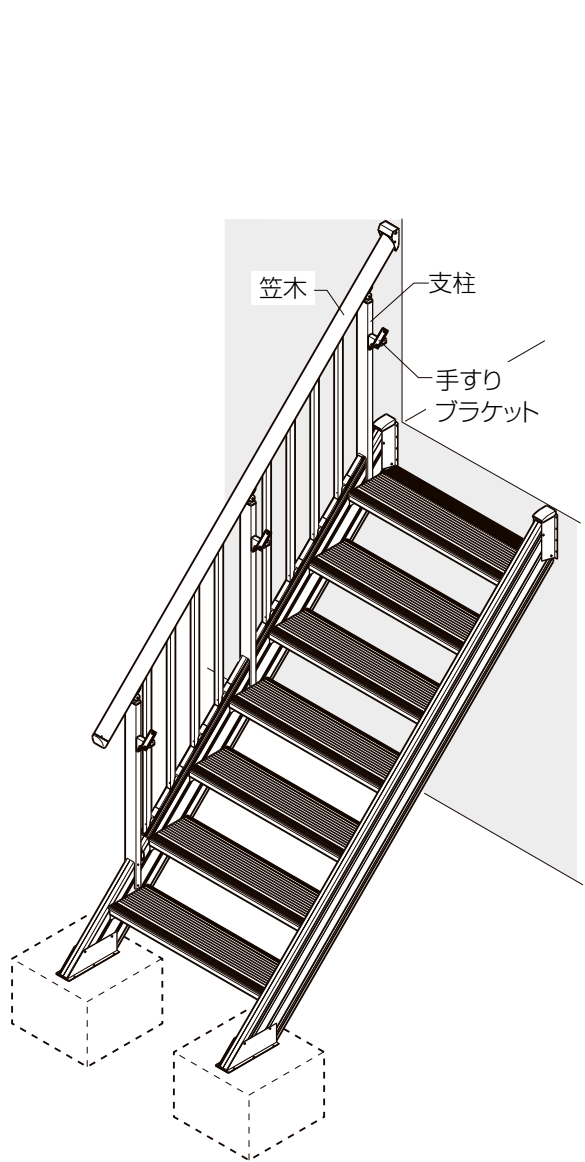
■構造説明図

■取付け順序

1 本体の組立て



2 手すりブラケットの取付け



■取付け詳細

1 本体の組立て

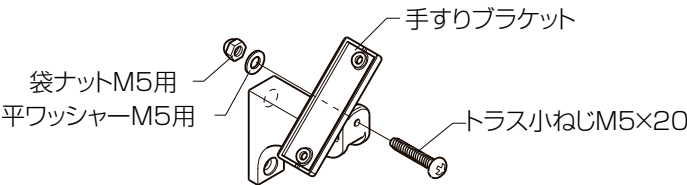
- 「ステップ取付け説明書」を参考に本体を組立ててください。
- ※支柱は必ず補助手すり用の支柱を使って組立ててください。
- ※支柱の本数はサイズによって下表のようになります。これより少ない本数の場合は取付けないでください。

本体サイズ	1200	1500	1800	2100	2400	2700	3000
ステップ数	3	4	5	6	7	8	9
支柱本数	2	2	2	3	3	3	3
本体サイズ	3300	3600	3900	4200	4500	4800	5100
ステップ数	10	11	12	13	14	15	16
支柱本数	4	4	4	4	5	5	5

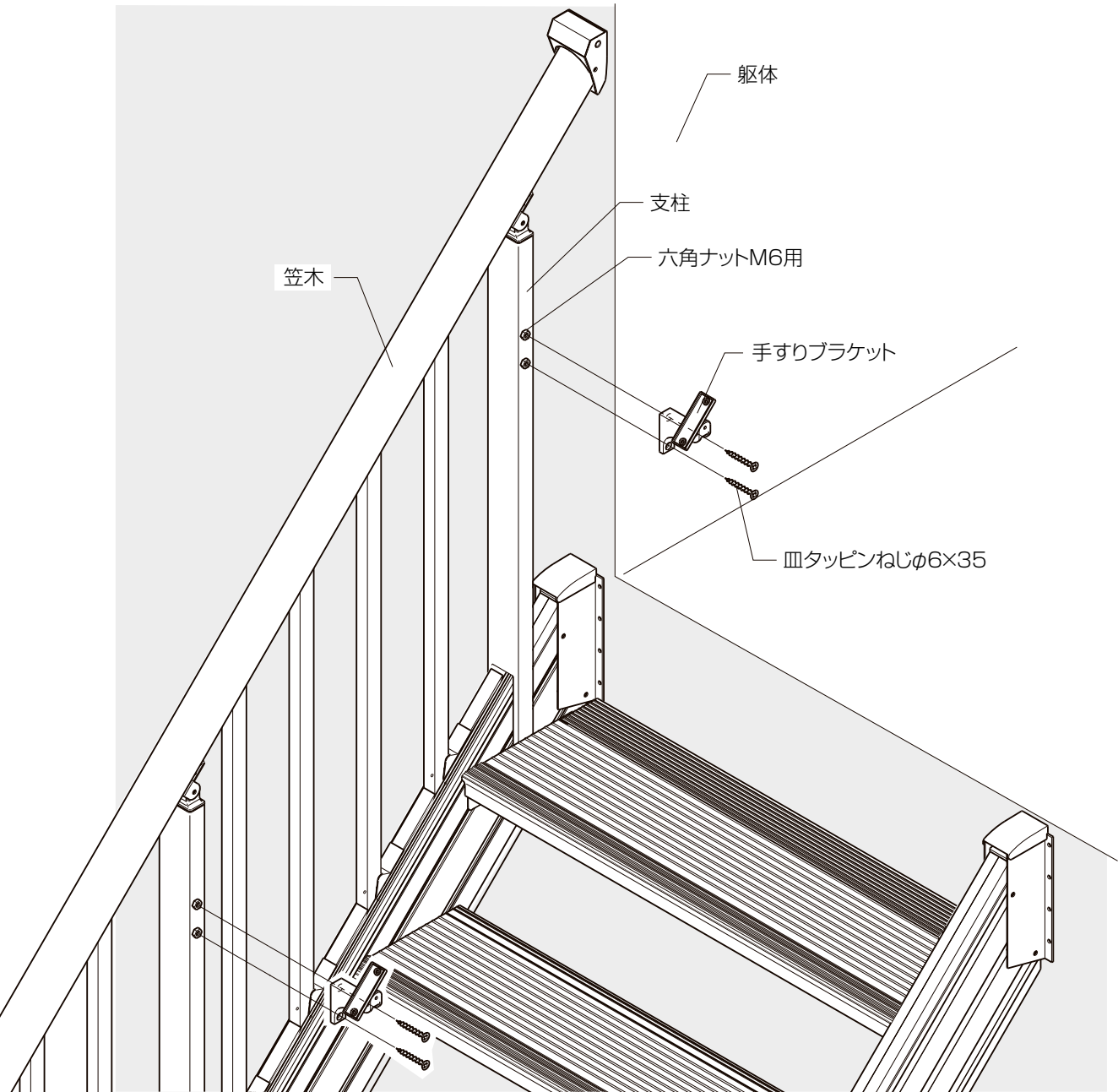
2 手すりブラケットの取付け

■先付け補助手すり（躯体納まり）の取付け方法

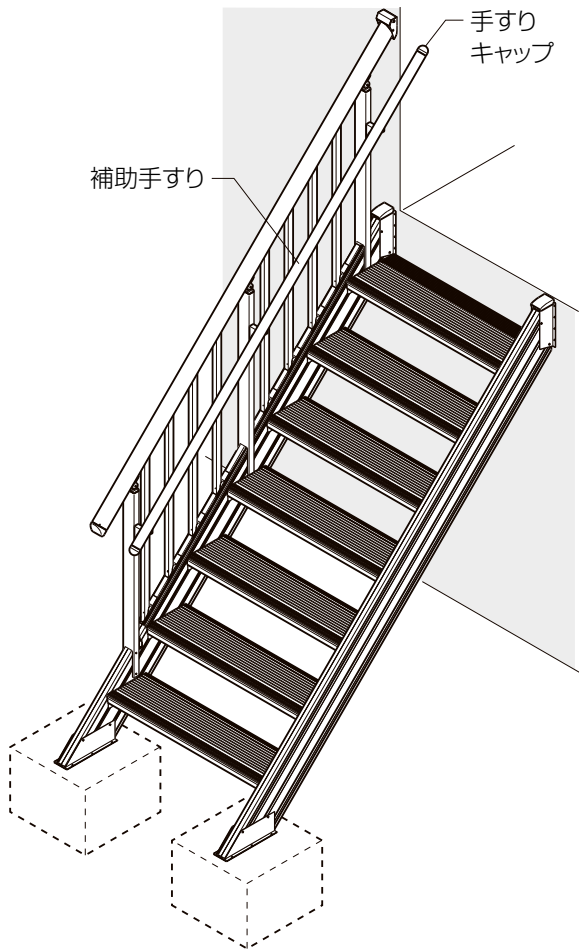
①手すりブラケットを組立てます。



②手すりブラケットを皿タッピンねじφ6×35で支柱のナット部に取付けます。



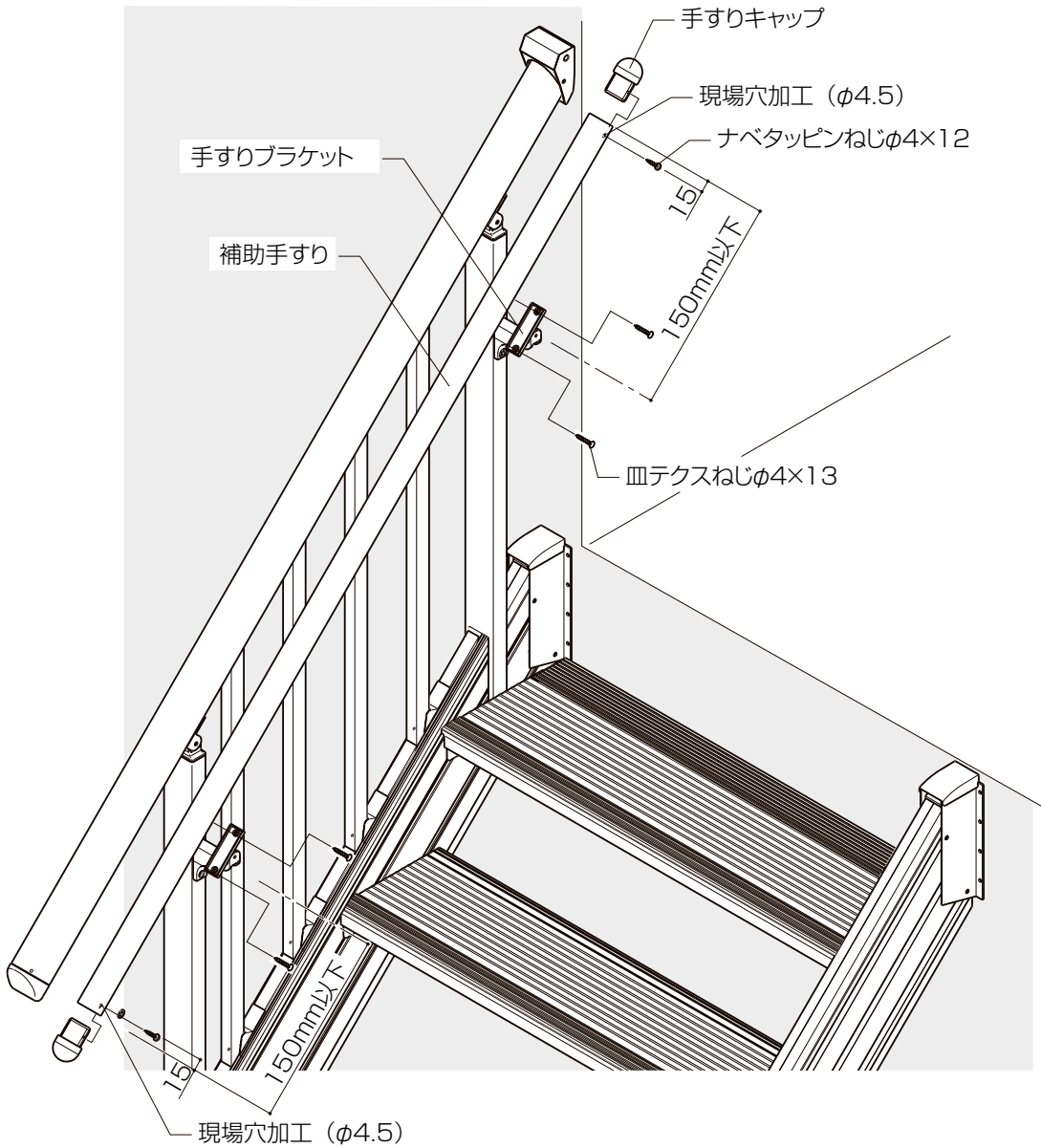
3補助手すりの取付け



3補助手すりの取付け

■先付け補助手すり（躯体納まり）の取付け方法

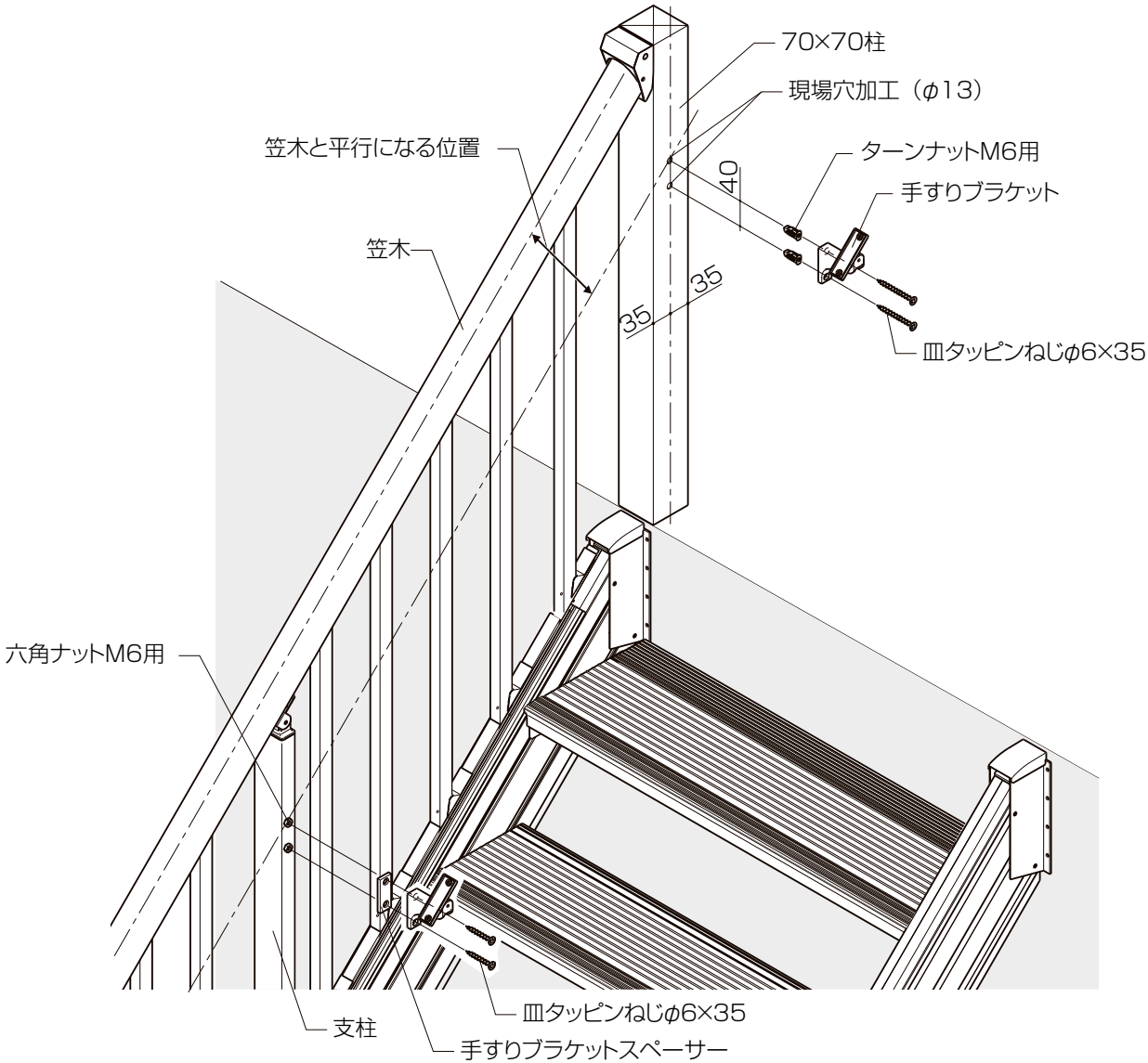
- ①補助手すりの長さを両端150mm以下になるように切断します。
- ②補助手すりの端部から15mmの所に現場穴加工（φ4.5）をあけて手すりキャップを取付けます。
- ③補助手すりの両端の出寸法を確認し、皿テクスねじφ4×13で手すりブラケットに取付けます。

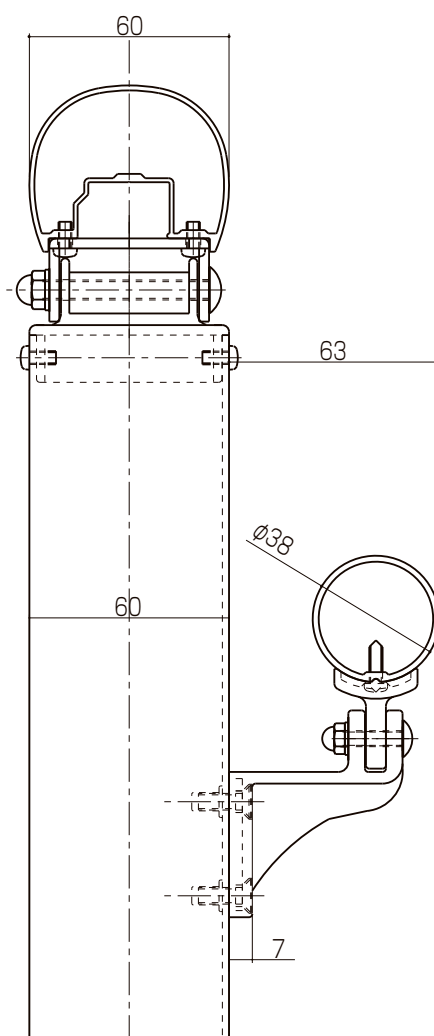
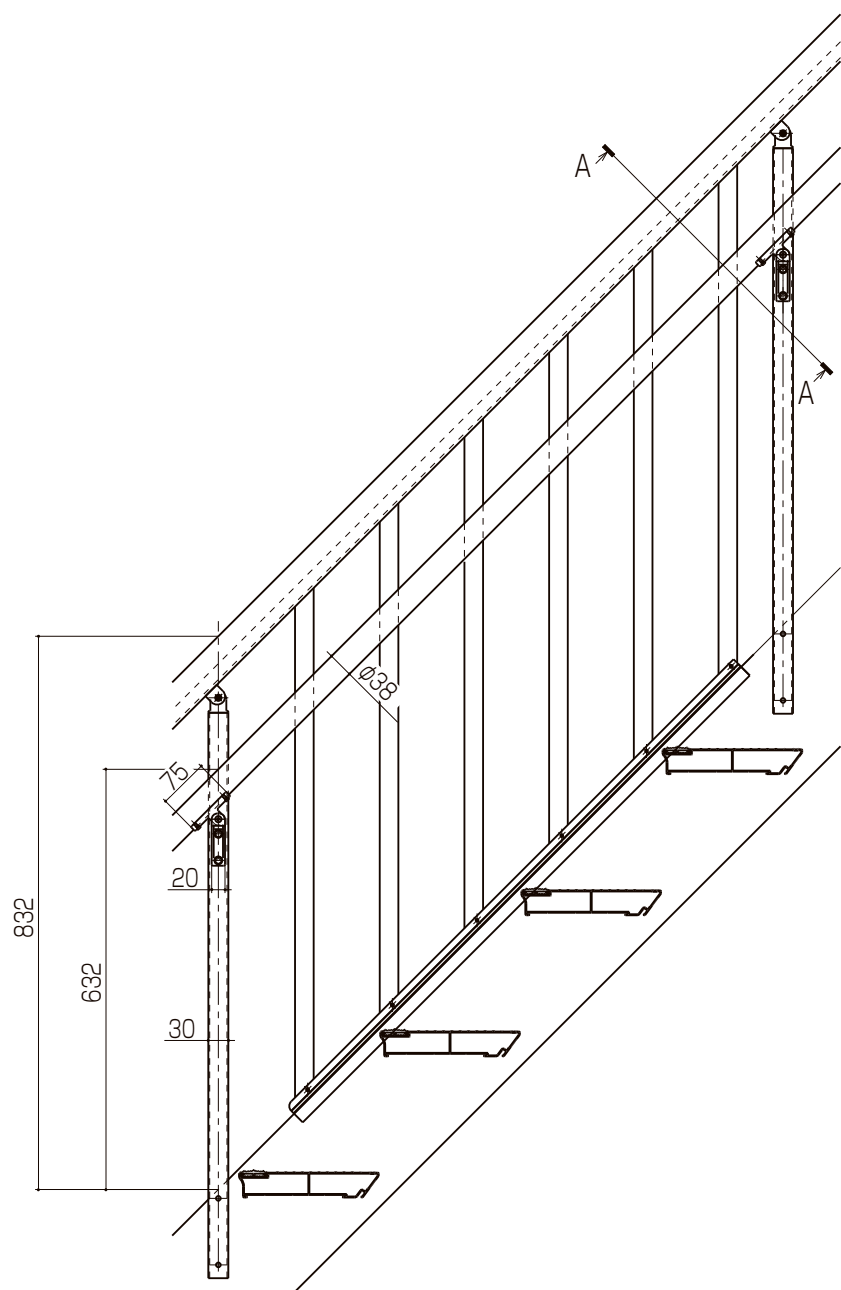


※階段屋根接続柱・踊り場の主柱に手すりブラケットを取付ける場合

■先付け補助手すり（柱納まり）の取付け方法

- ①支柱のナット部の位置を笠木と平行に測り、柱に現場穴加工（φ13）を2カ所あけます。
- ②φ13の穴にターンナットを入れ、手すりブラケットを皿タッピンねじφ6×35で取付けます。
- ③支柱部分は手すりブラケットスペーサーを間に入れ、手すりブラケットを皿タッピンねじM6×35で取付けます。





A-A断面図

